

宮 陵
会 報

KYU-RYO

2003 No.76

発行責任者
 社団法人 宮 陵 会
 広報委員会
 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1
 神奈川大学内
 TEL 045-481-5661
 印刷所 勝江森印刷所

全費の払込みについて
 直接社団法人宮陵会事務局宛に
 送金くださるか、または、振替貯金
 口座(横浜 00260 - 6 - 9751) に
 お振込みください。その際卒業年
 月・学科をかならずご記入くださ
 い。

現住所等の変更連絡について
 現住所・勤務先等に変更があつ
 た場合は、社団法人宮陵会事務局
 宛にご通知ください。



代議員会・通常総会開催

▼七月二十三日
平成十四年度 第二回代議員会

第二回代議員会は、総数三六三名中二六三名(含む委任状出席一四九名)の出席があり、有効に成立要件を充足し、会議は開催された。

議案は、始めに平成十五年度補正予算に関する件、次いで平成十六年度事業計画及び収支予算に関する件が諮られ、特に質疑はなく、原案とあり承認された。続いて、役員選考委員会委員の選出に関する件が諮られ、任期満了による次期役員候補選出のため、社団法人宮陵会役員候補者選任規程に基づき、役員選考委員会の設置、同委員の選出が諮られ、規程による委員と年次区別で選出される計二〇名の委員が選出されて審議を終了した。

▼五月二十五日
平成十五年度 第一回代議員会・通常総会

第一回代議員会には、総数三六〇名中二八五名(含む委任状出席一四八名)の出席があり、通常総会には二九七名(含む委任状出席二八〇名)の出席があり、いずれも有効に成立要件を充足し、会議が開催された。

会議に先だって、渡辺会長からブロック会・地方支部総会等への出席の印象、大学の「法科大学院の設置の動き」についての報告の後、懸案である「定款改正」について中間法人法が成立し、当初中間法人への移行を検討していたが、「公益法人から中間法人への組織変更」関係が削除され、財産の移行が困難等の点から、社団法人のまま存続していくという結論に達したと、社団法人として存続していくにあたり、現定

款では、文部科学省への届出を含めて、いくつかの問題があり、定款検討小委員会を設置して審議を重ねてきたが、引き続き、次期理事会において検討願うこととした。

財政問題について、現在、本会の財政状況は、運営資金のほとんどを連合会員費に頼っている。毎年、四千名を超える卒業生(通身会員)が増加しており、それに伴い通信費用だけでも膨大なものとなっている。本会は遠からず赤字財政となることは必至である。その対処には、先ず終身会員制度を見直す必要があると考えている。財政検討委員会を設置して審議してきたが、まだ最終的な結論に達していない。この問題も次期理事会においての継続審議をお願いする。この報告と、宮陵会が、大学の将来に向けて、より一層協力できる体制を整えたいので、会員諸兄のご支援・ご協力を切に願います。との挨拶が行われた。

代議員会では、平成十四年度収支決算報告に関する件、平成十五年度補正予算に関する件、役員選任に関する件が諮られ、原案通り可決・承認された。審議の中で、財政問題、奨学金回収問題、学術振興について、会費納入の促進について、婦人部委員会の活動について等々、多数の提言、要望が出され、活発な意見交換が行われた。

続いて午後から開かれた通常総会では、平成十四年度第二回代議員会でも可決・承認された案件、本日前中に代議員会で可決承認された案件、予算、補正予算、収支決算関係が原案通り可決・承認された。続いて、任期満了による次期代議員の選任について代議員選考委員会下山貞明委員長が、同じく役員選考委員会下野昌子委員長、山田操委員長が選考経緯をそれぞれ説明、いずれも原案通り、承認された。

また、「役員承認に関する件」が可決・承認を得たことに伴い、新理事会を開催し、会長・副会長・専務理事の三役の選出及び各常任委員長の選任が行われ、再選された渡辺徳平(30法卒)新会長から別表の通り報告された。

次いで、全ての議事が終了した後、平成十五年度表彰者の表彰が、別表の通り、報告された。

続いて来賓挨拶が行われた。初めに学校法人神奈川大学大野泰理理事長から日頃の卒業生の支援と寄付金のお礼が述べられ、神奈川大学の近況報告として、「中期財政見直しを一回にわたり作成、経費の節減、借入金金の返済等、神大は健全な経営のもとに、学生を集め得る可能性ができていく。しかし、大学を取り巻く環境は厳しく、少子化問題、大学進学率の頭打ち、国立大学の独立行政法人化、工場等制限法の解除、奨学金のあり方、二十一世紀COEプログラム支援等、様々な問題が出てきている。今後の対応として、法科大学院(ロースクール)の設置、学生寮の増築、ハイテク・リ

サーチ・センターの開設等がある。現在、全学をあげて努力しているので、卒業生皆様のご援助(ご声援をお願い致します。と述べられた。次いで、神奈川大学山火正則学長から、日頃の神奈川大学への支援・協力に対するお礼が述べられ、「志願者状況では、若干の減ではあるが、入学者を選抜できる程度の受験者は確保できた。現在、横浜市内の大学間では単位互換制度、学生による授業評価の実施、高大連携の推進、大学院の定員増、法科大学院の設置、二十一世紀COEプログラムへの申請等を行い、現在の日本における大学問題の状況から、教育の重視ということをごこ数年言い続けている。大学の教育である限り、研究は当然の前提であり、教員面を中心として、色々な取り組みを、教員が一丸となり、具体化するには検討を進めているところであり、これまで同様、大学に対して、ご支援、ご協力をお願いしたい」と述べられた。以上をもって、本年度の代議員会・通常総会を無事終了した。



1. 神奈川大学の進展と維持に必要な援助
 - (1) 大学公開講座の協賛
 - (2) ホームカミングデーの協賛
 - (3) 「神大スポーツ振興会」賛助金募集
 - (4) 卒業祝賀行事の共催
 - (5) 奨学金の給付及び貸与
 - (6) 特定奨学金の給付
 - (7) クラブ活動等援助及び講演会・スポーツ大会等の開催、体育の振興
 - (8) 新入生へ記念品の贈呈
 - (9) 新卒業生へ年度名簿の配布
2. 会員相互の連携強化、その他本会の目的達成に付随する事項
 - (1) 会誌・会報の発行
 - (2) 会費納入の促進
 - (3) ブロック会、支部との連携並びにブロック会、支部の設立及び再建支援
 - (4) 全国支部長会議の開催
 - (5) 校友名簿の頒布
 - (6) 「神奈川大学校友VISAカード」の入会促進及び提携店拡大
 - (7) その他の目的達成に必要な事業

平成15年度事業計画

【平成15・16年度 役員・委員長・代議員会正副議長】

Table of officers and committee members for the 15th and 16th fiscal years, including roles like Chairman, Vice Chairman, and various committees.

【平成15年度通常総会で表彰を受けた方々】

Table of individuals honored at the 15th fiscal year general meeting, listing names and their respective roles or departments.

平成14年度 決算報告

収支計算書

(自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日)

平成15年度 予算

(自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)

一般会計

(単位: 円)

Main financial statement table for the 14th fiscal year, showing income and expenses across various categories.

(単位: 円)

Main financial statement table for the 15th fiscal year budget, showing projected income and expenses.

雑収入 (寄付者内訳 35,000円) 30,000円 正木 基介 (昭28 経) 3,000円 松江 泰弘 (昭38 賃) 2,000円 浅香 武和 (昭50 賃)



サッカー部 関東大学サッカー選手権大会 初のベスト8!!



関東大学リーグ1部・2部所属の16校と関東各都県(東京・神奈川・千葉・埼玉・北関東)代表16校の計32校により行われる「関東大学サッカー選手権大会兼総理大臣杯全日本サッカートーナメント(関東予選)」において、本学体育会サッカー部が創部以来初めてのベスト8進出を果たしました。

対戦相手は、慶應義塾大学(関東2部)、日本大学(関東1部)、駒澤大学(関東1部)、国士館大学(関東1部)と関東リーグ所属の強豪校ばかりでしたが、昨年度同大会で日本一となった駒澤大学と互角の試合ができるなど、いまだに無い確かな手ごたえを感じ、上位リーグでも十分戦える力があることを証明できました。

現在、神奈川大学サッカー部は神奈川県大学サッカー連盟1部リーグに所属。秋季リーグでの優勝、そして関東リーグへの進出に期待がかかります。



【試合結果】1回戦 神奈川大学 5-0 慶應義塾大学 / 2回戦 神奈川大学 1-0 日本大学

準々決勝 神奈川大学 0-1 駒澤大学 / 5位決定戦 神奈川大学 0-5 国士館大学

(主務 松村崇史 建築4年)



準硬式野球部 神奈川7大学準硬式野球春季リーグ戦優勝!! 全日本大会出場へ!!

6月6日、それは現実のものとなった。9回二死からのセカンドゴロを一塁手が手にしたその瞬間、我々は5年振りとなる全日本大会出場を掴み取ったのである。

昨年の秋季リーグ戦は7勝5敗の4位と惨敗。チームが日に日に崩れていくのを目の当たりにした。いつか、勝てないことへの苛立ちが仲間に対する不信感となって現れた。これからは、もっとく分らない中で「とにかく練習だけは、しなければ」という思いだった。苦しいなか、チームの団結を信じて練習を重ねた。グラウンド改修工事等、思い通りの練習は出来なかったが、皆無我夢中でバットを振り、ひたすら走り込んだ。

二度の合宿でも徹底的に練習をした。練習試合、関東大会を経験の中で手ごたえも掴んだ。けれども、それ以上にチームが再び崩れてしまう恐怖に襲われた。そうした不安やプレッシャーが重くのかかり、押し潰されそうな日々が続く中、リーグ戦初戦をむかえた。しかし、私の心配をよそに、試合を重ねる中でチームは常に何かを吸収し、成長を続けた。決して一人一人の能力が突出しているわけではないが、そこには仲間を信じ、自身を信じ、どんな劣勢にも屈せず諦めることのない「負けずチーム」が作られていった。優勝したいという思いは着実に確信へと変わっていった。

副将、主務をはじめ皆が主将である私を支えてくれた。だからこそこの優勝である。全国大会でも、この仲間達と野球が出来ること、OB関係者の方々の励ましに感謝の気持ちを忘れず全国優勝を目指し、威風堂々と闘ってきたい。(主将 高橋 亘 貿易4年)

全日本学生体操競技選手権大会 2年連続出場!

今春、4月・5月に行われた東日本学生グループ体操選手権大会、東日本学生体操競技選手権大会というインカレ予選を通過し、全日本学生体操競技選手権大会に2年連続で出場することになりました。神奈川大学体育館では、現在のところ週2回、月、火曜日しか練習できません。しかも壊れている体操器具もあり、人数も少なく、練習環境としては大変困難なものでした。しかしながら諸先輩方が他大学とのネットワークを築いてくれていたおかげで水、木、土曜日は東京大学、早稲田大学で練習することによって何とか練習環境を確保し、その結果として全日本インカレに神奈川大学体操部代表で出場することができ、大変良かったと思います。



体操部は、今年で創部以来50周年を迎えますが、更なる飛躍を目指して努力していきますので皆様の応援よろしくお願ひします。(主将 夏 在和 経済3年)

スポーツチャンバラ 2年連続世界選手権出場!

今年も6月29日に行われた関東学生大会で優勝し、8月31日(日)に横浜文化体育館で行われる世界選手権の出場権を獲得することができました。世界選手権へ向けての調整は順調です。

前回の世界選手権には適度な興奮と緊張感を持ちながら最高の精神状態で望むことができたので、良い結果につながったと思います。大勢の観客の中、世界の強豪たちと戦ったことは、自分の将来にとって大きな経験になると思います。今年の目標は、世界選手権二連覇を目指すとともに、神奈川大学内でスポーツチャンバラを広めて、多くの人に知ってほしいと思っています。ぜひみなさん応援に来てください。(東 憲一 建築2年)



吹奏楽部世界大会出場

吹奏楽部が6月29日から7月5日、スウェーデン・イェンシェーピングで開催された第11回世界吹奏楽大会 (World Association for Symphonic Bands and Ensembles) に参加しました。世界大会では「吹奏楽のための組曲」をはじめ7曲を演奏しました。吹奏楽部はこれまでの全国大会においては、通算17回の金賞を受賞しています。また、海外においての演奏活動も今回で4回目となり、これからの活躍が増々期待されます。

■ 神奈川大学吹奏楽部第39回定期演奏会

2004年1月5日(月)横浜みなとみらい大ホール
連絡先 045-481-2989(部室)

定期演奏会のお知らせ

■ 神奈川大学管弦楽団第45回定期演奏会

2003年12月7日(日)横浜みなとみらいホール
連絡先 045-481-7842(部室)

陸上競技部

第35回全日本大学駅伝対校選手権大会 関東学生陸上競技連盟推薦校選考会結果



我々、陸上競技部駅伝ブロックは、先日行われた全日本大学駅伝予選会において7位、予選落ちという大変悔しい結果となりました。

改めて勝負の厳しさを痛感させられるレースでした。この思いを部員一人一人が謙虚に受けとめ、もう一度足下を見つめ直し、来たるべき箱根駅伝予選会に向けてチームをより成熟させていきたいと思います。

今年は箱根駅伝予選会(10月18日於：箱根町)を突破しなくては出場資格がない状態にあります。そこを勝ち抜くために、部員全員が心をつなにし、選手として走る者とリザーブとしてサポートする者とお互いを尊重し合える、気持ちをくみ合える絆をより強くし、いいチームをつくりたいと思います。

今、私たちは何も無い状態です。まず、箱根駅伝予選会を通過しないことには何も始まりません。勝負にこだわり、集中し、今回の全日本大学駅伝予選会の負けの悔しさを忘れることなく前進していきます。逆境を乗り越え最後に突えるように、もがき苦しみながら目標を見失うことなく一日一日大事にしていきたいと思ひます。(主務 比企和一 英文4年)

Check!

<http://ekiden.kanagawa-u.ac.jp/>

レスリング部 1部リーグ初挑戦! 東日本学生レスリングリーグ戦

レスリング部で団体戦の主眼としている東日本学生リーグ戦は、5月13日~16日駒沢公園体育館で開催され、昨年1部リーグに昇格した本学にとって、昇格後初の大会となりました。



4日間の日程で順位決定戦を含め8試合を戦い、下位2大学は入替え戦に出場しなければならぬこともあり絶対に全敗は避けたいところ。昇格したばかりの本学は昨年度優勝大学から対戦、粘りは見せたものの0-7の惨敗、1部リーグの厳しさを痛感させられました。

しかし、チーム一丸となり「まず1勝を」と奮起し、序々に調子上げていき6試合目の早稲田大学戦で3-4の惜敗、そしてついに7試合目で東京農業大学から接戦の末5-2で初白星をあげることができました。苦しい戦いが続いただけにこの勝利は本学にとって大変価値ある1勝となりました。

順位決定戦では明治大学に3-4で敗れはしましたが、昨年より2つ順位を上げての14位となり1部リーグをキープし、入替え戦に回らず来年に繋がる成績を残すことができました。

結果は以上となりますが、内容的には出場した個々の選手が1試合ごとに成長を見せた大会となりました。来年は更に上位を目指します。

レスリング部は、常に質実剛健を目指し日々練習を続けていきます。今後も応援よろしくお願ひいたします。(主将 松田孝一 国際経営4年)

残念! 硬式野球部 春季リーグ第3位 優勝は秋に持ち越し...

2003神奈川大学野球春季リーグ戦が5月29日閉幕し、神大硬式野球部は6大学中第3位でした。打撃力アップを目標に練習を積み重ね臨んだ今季リーグ戦では、リーグ序盤こそ打線奮起し、勝利を得ることができましたが、リーグ後半は投手陣の踏ん張りや打線が応えることができず、僅差の得点での負けが重なり、第3位という大変悔しい結果となりました。

しかし、エース狹野忠寛投手(3年)は5月27日の対神奈川工科大学戦でノーヒットノーラン、無安打無得点の史上13人目の快挙を達成。この試合を7-0で勝利し、春季リーグ『ベストプレイヤー賞』に選ばれました。また、ショートの前瀬彰太選手(3年生)も鉄壁の守備、こ一番での勝負強さが認められ、「ベストナイン遊撃手部門」に選出されました。

硬式野球部は秋季リーグに向け、この夏さらなる打力アップを目指し、練習に励みます。応援のほどよろしくお願ひいたします。(硬式野球部)

これからの大会

団体名	大会名	期 間	場 所
体 操 部	第57回全日本学生体操競技選手権大会	8月5日(火)~8日(金)	山形県酒田市 国体記念体育館
卓 球 部	第73回全日本大学対抗卓球大会	8月9日(土)~12日(火)	青森県青い森アリーナ
弓 道 部	全日本学生弓道選手権大会	8月15日(金)~17日(日)	神戸市
水 泳 部	日本学生選手権競技大会	9月4日(木)~6日(土)	東京辰巳国際水泳場
レスリング部	全日本学生選手権(インカレ)	8月26日(火)~29日(金)	駒沢体育館
	文部科学大臣杯全日本大学グレコローマン選手権大会	10月9日(木)~10日(金)	駒沢体育館
	内閣総理大臣杯全日本大学選手権大会	11月7日(金)~8日(土)	兵庫県西宮市
準硬式野球部	全日本大学準硬式野球選手権	8月17日(日)~	名古屋市 阿久比球場 (詳細は未定)
軟式庭球部	第57回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会	8月8日(金)~9日(土)	京都府福知山市三段池公園テニスコート他
	第58回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会	8月10日(日)~12日(火)	

大学ニュース

山火正則学長 再任される



任期満了に伴う学長選挙が行われ、山火正則学長が再任されました。山火学長は一九七〇年東北大学大学院博士課程を修了、一九七一年から神奈川大学で教鞭をとり、一九七九年教授に昇任、法学部長、大学院法学研究科委員長、法人評議員、理事などを歴任し、二〇〇〇年七月七日から三年間学長を務められ、この度の再任となりました。学長の任期は二〇〇三年七月七日から二〇〇七年三月三十一日までとなります。山火学長再任にあたっての所感を「寄稿いただきましたので、ここに掲載いたします。

この度、引き続き、学長に就任することになりました。三年前に就任したときには、大学を取り巻く状況に極めて厳しいものがあることを痛感し、その職責の重大さに強い緊張感を覚えたものでした。そして、ともすれば偏差値を基準にして大学の序列化が行われがちな風潮のなかにおいて、そのような序列化に負けない特色のある研究に基づく教育機関としての大学の構築を願ひ、学生の立場に立った大学を目指して全力を尽くして参りました。このような観点から、これまでで教学改革の基本となる自己点検・評価体制の確立、カリキュラム充実の一環としての横浜市内十一大学との間の単位互換、寄付講座制度の導入、フアカルティ、ディベロップメント体制確立へ向けての学生による授業評価の実施、教育・研究支援の一環としてのティーチング・アシスタント、リサーチ・アシスタント、ポスト・ドクターに関する諸制度の新設などを行うとともに、工学研究科の大幅な定員増など教育組織の充実にも努め、六月下旬には文部科学省に対して法科大学院設置の申請をしたところです。

は今なお変わるところがなく、むしろその度合を一層強めていくように思われます。これに対処していくためには、大学が研究に基づく教育の場であることをあらためて確認し、これまで以上に学生の立場に立った大学の具体化に努めることが重要です。例えば、本学は少人数教育を重視し、またゼミの神大を標榜してきましたが、双方方向教育ということが一般的に強調されるようになった昨今、その特色はやや薄れつつあります。本学の伝統とされた少人数教育、ゼミの神大の実態を検証し、新たな意味づけをする必要性に迫られています。また、学生の学力不足が各大学において問題とされていますが、現時点における問題の本質はむしろ学生の学習に対する意欲不足にあるように思われます。その意味において、大学の意欲を如何に引き出すかも、今の大学にとって大きな課題であるといえます。これに関連して、従来のような学部学科ごとの明確なカリキュラムによる履修の妥当性も検討する必要があります。ここには、学部学科のあり方、ひいては本学の存在理由にまで発展する重大な問題が含まれています。これらの問題を検討すること

とを通して教育面における本学の独自性を展開していくこととなります。研究面については、全学的にはすでに一応の水準に達していると思われ、このことから本学の顔の見える突出した研究の推進を図り、これに対する重点的な支援体制を作る必要があります。このような方向性は、本学の研究面における特色を示すというだけではなく、他の研究の活性化を促進し、学生の学問に対する意欲を引き出すことにも積極的

法科大学院 (ロースクール) 来春開設を目指し申請

既に新聞紙上等でも報道されているとおり、司法制度改革が進む中、法曹(裁判官・検察官・弁護士)人口の大幅拡大を目指し、法律家養成の中核的教育機関として位置付けられ、来春四月に開設される法科大学院(ロースクール)の設置認可申請が六月三十日に締め切られました。文部科学省のまとめでは、申請校は国公私立合わせて七十二大学、定員総数は五、九五〇人となりました。

神奈川大学 法科大学院概要(予定)

- 開設時期 二〇〇四年四月
- 入学定員 一五〇名
- 修業年限 三年(法学既修者も認められた者については二年)
- 教員数 十二名(うち実務家四名)
- 奨学金制度 有り
- 授業料 一五万円～一六〇万円
- 入学者選抜方法 統一適性試験(大学入試センター主催、日弁連法務研究財団主催のいずれか)を受験した上で、1月中旬及び2月下旬に実施される本学入学試験により選抜

な機能を果たすことになるからです。いずれにしても、これからの三年余を神奈川大学の発展のために全力を尽くすべく決意を新たにしているところです。皆さんのご支援・ご協力をよろしくお願い致します。また、大学の評価は、卒業生の皆さんの社会における活躍に負うところ大なるものがあります。皆さんご自身のためにももちろんのこと、さらには大学のためにも、皆さんの活躍を心より祈念致します。

法曹としての活動領域の深化と展開を図るとともに、IT機器を活用した学習環境を整備、二〇〇五年三月には新棟が完成する予定となっております。詳しくは、神奈川大学ホームページ <http://www.kanagawa-u.ac.jp> に最新情報が掲載されていますので、是非ご覧下さい。

理学研究科開設10周年 ハイテク・リサーチ・センター竣工記念行事

去る六月四日(水)、湘南ひらつかキャンパスで理学研究科の開設10周年及びハイテク・リサーチ・センター棟(研究施設)竣工を記念して式典が行われました。



当日は平塚市長はじめ、産官関係者、本理学研究科卒業生が就職した企業の役員の方や理学研究科卒業生、本学教職員、大学院生等二百五十名以上の参加者がありました。

式典が行われ、大野善理理事長、山火正則理事長、山本晴彦理学研究科委員長より挨拶があり、参加者の方より祝辞を頂きました。

記念式典の後、記念講演として藤崎昭財団法人神奈川科学技術アカデミー理事長による講演(演題「光機能界面のおもしろさ、酸化チタン光触媒の活躍について」)が行われました。その後、パネルディスカッション「二十一世紀の大学院に何を望むか」をテーマに、コーディネーターとして山口和夫理学研究科教授、パネリストは本理学研究科卒業生六名による討論が行われました。

本大学院理学研究科は平成十四年に文部科学省により、私立大学学術研究高度化推進事業の先端的研究プロジェクトを実施する組織として「ハイテク・リサーチ・センター」(研究生より賞品のご提供をいただき、抽選会を開きました。ご協力ありがとうございました)。

第9回 ホームカミングデー 開催のお知らせ

期日 平成15年10月19日(日)

場所 神奈川大学横浜キャンパス

卒業生と母校との絆を深め、卒業生相互のヒューマンネットワークを広げ、本学のさらなる発展に資することを目的として開催される神奈川大学ホームカミングデーは、今年第9回を迎えることとなります。

平成6年より開催しているホームカミングデーは、開催ごとに参加者数も増えており、毎年この日に合わせてキャンパスでクラス会を行って卒業生も多くなりました。

第8回ホームカミングデーでは多数の卒業

生より賞品のご提供をいただき、抽選会を開きました。ご協力ありがとうございました。

今年度の招待者は、昭和28年以前の卒業生、昭和43年の卒業生、昭和58年の卒業生、平成5年の卒業生、平成15年の卒業生です。

右記以外の卒業生の方も参加できます。招待者の皆様には、9月上旬に招待状を発送いたします。(参加費無料)

一般参加の皆様は、9月上旬に招待状を発送いたします。はがき、電話、FAXのいずれかの方法で左記事務局までお申し込み願います。

ホームカミングデー実施事務局
〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学総務部総務課

究代表者竹内敬人理学部教授「研究プロジェクト名・高度機能を持つ分子、生物ホトニクス」の基盤技術開発」に選定され、研究開発に必要な研究施設、研究装備設備の整備に対して、重点的かつ総合的支援を受けることとなります。

インターンシップ フェア開催される!

六月四日(水)に本学横浜キャンパスにて「二、三年次生を対象とした「インターンシップフェア」が開催されました。

インターンシップとは学生が長期休暇等を利用して実際の就業体験をする制度で、そこで学生は「働くこと」の意義、や「実際の仕事の



TEL 〇四五-四八一五六六(一代)
内線 二〇七〇、二〇七二
FAX 〇四五-四九一七九一五



内容」を体験することができ、インターンシップを経験することにより、早期から進路を考えたきつかけとなり、またそれにより学修意欲が喚起されるなどの効果も期待され、国公立を問わず当該制度を導入する

大学が増えているところで、本学では、湘南ひらつかキャンパスで四年前より経営学部主体のもと実施されており、大きな成果をあげています。横浜キャンパスでは就職部主体により関連講座、インターンシップ受け入れ企業の情報提供等を行っています。

今行われたインターンシップフェアは初の試みであり、参加企業十一社、約八十名の学生が参加しました。学生は企業担当者の待つブースを訪れ、会社の概要やインターンシップの内容について説明を受けました。参加企業は地元神奈川新聞社をはじめ、製造業、情報産業など幅広い業界から協力がありました。また、本学でも事務職員のインターンシップとして若干名の在学生を受け入れる予定になっています。

受け入れ企業募集のお知らせ

本学就職部では、このような制度の趣旨に賛同し、協力をしてくださる企業を募集しています。後輩のインターンシップを支援したいとお考えの方は是非一報ください。

問合せ先・神奈川大学就職部
TEL 〇四五-四八一五六六(一代)
FAX 〇四五-四九一七九二四

全国初の女性支部長誕生!!兵庫県支部



第五十一回兵庫県支部総会は、六月二十九日(日)神戸市の湊川神社内にある楠公会館で開催され、第一部総会、第二部

講演会、第三部懇親会と大変盛大でかつ和やかな支部総会が行われました。兵庫県支部は『神奈川大学校友会子午線の集い』と称して毎年総会を行い、近畿地区では出席者も多く活発な活動を行ってきました。この度、任期満了による役員改選で、支部長が現田道信好氏(昭34年法)から、吉村晴子氏(昭40年応

化)にバトンタッチされました。

本年一月の新年会から布石が打たれ、ご本人の弁によれば、「私にはこの支部を支えていく力量は無いが、卒業後、何も御恩に報いる事なく今日に至った事を思うと、間接的にでも何かのお役に立てれば……」と就任を決意したそうです。「引き受けたい以上、若い世代の方々に、女性の方々等一人でも多量に集いながら地道な努力を重ねていきたい……」と抱負を述べられました。全国一三〇余の支部の中で、初めての女性支部長であり、女子の卒業生の増加する中で大いに期待されます。

神大の歴史(18)

終戦直後の新資料

本誌第61号「神大の歴史(5)」で紹介した大倉山記念館と本学の関わりがさらに新たな資料によって明らかになったのでここにその資料を紹介する。昨年7月創立70周年を迎えた大倉山精神文化研究所の記念展示会が同所に入所する大倉山記念館で開催された。大学の大学資料編纂室では本学と戦後復校校としての授業を再開した大倉山精神文化研究所との関わりから展示の見学とともに資料調査をかねて同展示会場を訪れた。そこで同研究所の研究員の方に終戦直後の事情をお話し、資料の調査をお願いしたところ当時の研究所の日記と本学と大倉山精神文化研究所との建物賃借契約解除の証が新たに発見された。この日記によれば本学は1945(昭和20)年の「九月十日 月曜 横浜専門学校西垣田氏二



名本館借用ノ件ニテ来訪」とあり、教授会が9月3日の占領軍による校舎の接収を受け、「進駐軍ノ立退キヲ待ツテ、或ハ米陸軍ノ教育統制ヲ見テカラ授業ヲ開始スルトイフノ無シニ他二校舎ヲ求メテ種々の再開ノ準備ヲナスケデアルトノ意見アリ。依テ借用校舎交渉ニ関スル分担ヲ決定シ、九月十二日の教授会以前から仮校舎の交渉をばじめていたことが判る。続いて9月14日に再び同研究所と交渉に訪れ、翌15日に教授会で10月15日から大倉山精神文化研究所で授業を再開すると

本部だより

【新支部長紹介】

- 青森支部 支部長 山岸 宣彦(39機) 連絡先 031 0833 八戸市大久保小久保 三七〇
- 京滋支部 支部長 山崎太三郎(36法) 電話 〇一七八 三五 三三九二
- 茨城支部 支部長 山田 俊文(39管) 連絡先 千3112 潮来市宮前一 一四
- 新潟支部 支部長 山口 直光(39機) 電話 千850 0852 新潟市石山三 二二
- 支部長 支部長 電話 〇二九九 六六 四四二六
- 支部長 支部長 電話 〇二九九 六六 四四二六
- 支部長 支部長 電話 〇二九九 六六 四四二六
- 支部長 支部長 電話 〇二九九 六六 四四二六

発表している。研究所の日記には、10月16日に「横浜専門学校授業開始」とあり、教授会議事録に記載されている10月15日ではなく1日遅く授業が開始されているのである。新たに発見されたもう一つの資料、昭和20年12月18日付けの財団法人横浜専門学校理事長宛に提出された「貴所建物及備品賃借契約解除二開スル件」によれば、昭和廿年拾月拾五日以降賃借住居候書建物となっており10月15日から借用していたことから、この日が授業の開始日となったのであろう。同証によれば「今般本校二進駐中ノアメリカ軍撤去致シ候ニ就而八拾式月未日ヲ以テ借用中ノ貴所建物及備品御返却申上度」と、従来言われてきたように12月3日の占領軍による接收解除後すぐに大倉山精神文化研究所を撤収していたのではなく同月一杯同研究所を借用していたことがわかる。写真は、その新たに発見された「契約解除二開スル」証書で半世紀以上前の事実関係を証するものである。(S)

- 兵庫支部 支部長 吉村 晴子(40応化) 連絡先 千 6715 加古川市野町野口 五六三二
- 電話 〇七九四 五四 二五〇〇
- 神奈川県庁支部 支部長 藤岡 進(44法) 連絡先 千232 0011 横浜南区日枝町 五二一九
- 電話 〇四四五 二五一 八六三五
- みやも電業支部 支部長 落合 晋(20電) 連絡先 千144 0052 大田区蒲田二一九二三 電話 〇三三 三三七七八 五〇六二三

*結婚おめでとうございます
次の方から結婚の通知が渡りました
15・5・2 佐武(旧姓 渡辺) 亜紀子様 (平8英) 神奈川大学広報課

お知らせ

- ◆全国支部長会議 日時 平成15年10月18日(土)予定
- ◆女性会員の集い 日時 平成15年10月5日(日) 問合せ先 宮陵会 TEL 〇四四五 四八二一五六六 内線 二四五二〜二四五三

お詫びと訂正

●訂報欄
誤りがありましたので、次のように訂正させていただきます。また、佐和山機市様には、大変ご迷惑をお掛け致しました。心よりお詫び申し上げます。

(誤) 佐和山機市・佐和山 祝

●支部長より欄

山形支部総会報告に誤りがありましたので、次のように訂正させていただきます。 榎岡支部長及び荒木副支部長には大変ご迷惑をお掛け致しました。心よりお詫び申し上げます。

(誤) 榎岡支部長・榎岡副支部長 (誤) 荒木支部長・荒木副支部長